

## やお・かしわら 玉手橋

大和川の支流、石川に架かる長さ151mの5径間連続吊橋が「玉手橋」である。昭和3（1928）年3月17日に近鉄の前身である大阪鉄道(株)により架橋された。5径間は吊橋としては、日本最多で唯一である。橋脚、塔などのユニークで可愛らしいデザインは、旧の玉手山遊園地へのアプローチを意識したものであろう。今でこそ周辺は住宅が建ち並ん



見学会で玉手橋を渡る参加者

所在地：柏原市玉手町・石川町

最寄駅：近鉄南大阪線道明寺駅下車 南東へ徒歩約3分

でいるが、架橋された昭和初期は、辺り  
は一面のいちご畑であったという。そこ  
に現れたユニークなデザインの吊橋は、  
遊園地などへの集客に一役買ったこと  
であろう。技術者としての心意気と遊び心  
で架橋に取り組んだ工事関係者に敬意を表  
すと共に、いつまでも残したい橋である。  
地域の社会経済的な背景を写す近代の構  
造物として価値がある事から、平成13  
年に吊橋としては全国初の登録文化財と  
なった。 (新田俊明)